

令和7年度「長久手市役所の仕事」通知表」の作成（外部評価）

【自主防犯活動支援事業】

開催概要

開催概要	
開催日時	令和7年7月30日（水） 午後2時40分から午後3時40分まで
開催場所	市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者 （敬称略）	<外部評価実施者（行政改革推進委員）> 石橋健一、室淳子、服部亜由未、岡崎信久、畑中達也、 細萱健一、青山正秋、近藤恵美子 <担当課> くらし文化部長 安心安全課課長 交通防犯係長 <事務局> 総務部長、総務部次長、行政課長、課長補佐、庶務係 長
傍聴者人数	2人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

<外部評価実施者の質疑、意見等>

委員

この事業は、防犯カメラの設置費負担金（補助金）と維持管理費負担金（補助金）が多くを占めており、自主防犯活動支援事業という事業名と予算の使い方が合っていないのではないかと。自主防犯活動をする人のための支出はないのか。

安心安全課

予算科目における中事業では、予算額のほとんどが防犯カメラの補助に関するものであり、予算の付け替えも視野に入れるが、しかし「共助」という観点で見ると、防犯カメラの費用（補助）をこの科目に含めることは、あながち間違っていないと考えている。

防犯団体向けの消耗品として、要綱にルールが定めてあり、ベストや誘導棒

など、申請があれば渡すことができるよう、予算は確保している。

#### 委員

青パトを使った自主的な活動をしている団体があり、市もパトロールを一生懸命やっており、良いことだと思うが、活動指標として掲げるのはどうかと思う。長久手市内の刑法犯の特徴を分析し、それを防ぐような対策が求められる。対策の効果は出ているか。

#### 安心安全課

青パトを使った自主的な活動は、学校区で見ると今は西小だけであるが、これが広がるのが一つの活動指標となる。アクションプランに基づくものであり、また、成果指標を実現する個々の事務事業の具体的な数値が出せる最適なものとして計上したと考えている。

刑法犯の分析について、警察から詳細な情報の提供がないので、市として分析することはしていない。警察が分析した地域ごとの犯罪に関する資料を受領した際は、地域に回覧するようにしている。長久手市は人口の割に自動車盗、侵入盗等が多いので、定期的に地域回覧で注意してもらうよう案内している

#### 委員

防犯カメラは、地域が要望すれば設置されるのか。

#### 安心安全課

地域が設置した防犯カメラに対して、市がその設置費の一部を補助しているものである。

#### 委員

補助に対する予算は、今後減っていくのか。

#### 安心安全課

維持費に対する補助や、古くなったものを更新する際の費用に対する補助が

必要となる。

委員

ボランティア団体に対し調査をしたとのことだが、団体はどんな課題を抱えていたのか。

安心安全課

高齢化が課題となっている団体が多いようである。

委員

その課題を受け、どう団体を支援していくといった計画は考えているのか。

安心安全課

高齢化という課題に対し、市が次の担い手を見つけてあげる、ということとはできない。市ができることは、団体同士を集めて意見交換の場を設けたり、地域の代表の人に伝えることである。市が動いてしまうと、自主防犯団体の意欲をそいでしまうこともある。団体として活動を維持できるよう、気の利いた働きかけをしたい。

委員

団体から市に対して提案などはあるか。

安心安全課

団体や地域の役割を担っている人たちを集めて意見交換の場を作ってほしい、と言われたことはある。

委員

団体数の目標数値が22団体から横ばいであり、22団体を守ると見えてしまう。団体を増やす取組は考えていないのか。

市によっては、企業が率先して街頭活動しているところもあるが、企業への

アプローチはしないのか。

#### 安心安全課

企業で登下校の見守りなど防犯活動をしているところはたくさんある。しかし、団体とはつながっていない。それらをつなぐような取組が足りていない認識はあるので、今年度からできる範囲で取り組んでいきたい。

#### 委員

青パトの目的は何であると捉えているか。市民の防犯意識向上か、犯罪抑止か。それによって時間帯や場所が変わると思うが、目的を理解して方法を検討しているか。

#### 安心安全課

防犯意識向上と犯罪抑止、いずれの要素もある。青パトには誰が乗っても良いようにそれに対応した車の任意保険に加入している。

#### 委員

警察が分析した地域ごとの犯罪に関する資料を参考に、活動をいつ・どこでやるべきかが見えてくるように思う。ただ「毎月やらないといけない」ではなく、PDCAを回していくことが必要である。

警察との連携も重要であるが、交番を増やすとか警察の管轄区域を見直すとか、警察へのアプローチはしているのか。

#### 安心安全課

数年前に長久手の南のエリアに交番が新設され、本市への支援が増強されてきている認識がある。

また、地域要望に応じて防犯講習会の講師を引き受けていただくなど、本市への協力体制は十分と考える。

#### 委員

防犯ボランティア団体数を指標としているが、団体数ではなく、何をやるのかが重要である。

青パトについて、コロナ前までは、地域の人が市職員が運転する青パトに同乗させてもらい、車両のマイクで地域に対し広報して回っていた。市と協働していけるよう指標を検討してほしい。

#### 安心安全課

地域が変わり防犯活動が変われば、指標の見直しも必要となってくる。

#### 委員

P D C AのC（チェック）ができているか。犯罪が増えてきて、なぜ増えたのかをしっかりと分析し、市民に伝えていかなければならない。例えば防犯講習会のテーマを決めて開催し、呼びかけていく。

#### 安心安全課

刑法犯の分析について、警察から詳細な情報の提供がないので、市として分析することはしていない。警察が分析した地域ごとの犯罪に関する資料を受領した際は、地域に回覧するようにしている。

また、年度当初に防犯協会と、その年度に取り組む項目をターゲット別に検討し、事業を承認してもらってから進めている。防犯講習会も展開している。防犯協会もPRしているが、市民に届きづらく、苦慮している。

#### 委員

防犯協会は、地域の担い手と重なっている人もいると思う。意見交換する場がほしいとのことだが、可能ならば、防犯協会の場で意見交換を開催してはどうか。また、自主防災活動をしている団体も、重なる人がいるのではないか。

団体は、学校への見守りを主としてやっていると思うが、それぞれどのようなことをやっているのかを、広報紙に載せることも担い手獲得につながるかもしれない。

## 委員

夜に犬の散歩やウォーキングしている人も多い。しっかりとパトロールするのも良いが、市民が気軽に参加できるプチ防犯活動から少しずつ意識が変わっていくこともあると思うので、そういった人たちに何か光るグッズを渡すなども良いのではないかな。個人の力を発揮できると良い。

## 安心安全課

以前から、「ジョグパト」という個人のパトロール活動を推進しており、犬につける光るバンダナ等を渡している。現在318人の登録があり、積極的に広報していきたい。

## 委員

それらグッズを防犯講習会に来た人に渡すとか、積極的に進めてほしい。

## 委員

若い世代である子ども会、大学生などに楽しんでやってもらえるキャンペーン的なものやってもいいと思う。

## 会長

防犯講習会は、市民の行動変容を促す活動として活用してほしい。成功事例の紹介をするだけでも、団体の参考になると思うので、警察と連携し犯罪の推移を随時案内していき、団体の活動が役に立っているかを示してあげるとよい。

活動する人の負担感を和らげるためにも、担い手に対し感謝状を渡すなど、市がちゃんと見てくれてるんだ、と思ってもらえるようにしていくと良い。

役所が持っている情報とボランティアがもってる情報の格差を埋める工夫をすると、ボランティアの人たちが、自分たちで安心安全なまちを作るために頑張っている、と活動の意欲につながる。

活動指標は 団体数でなく、行動の質が変わるような指標があると良い。